



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月7日

上場会社名 北陸電気工業株式会社  
 コード番号 6989 URL <https://www.hdk.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田守男  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 林 良徳  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 076-467-1111

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	29,596	10.8	729	5.9	756	29.2	565	1.4
2019年3月期第3四半期	33,194	0.4	774	25.8	1,067	7.2	557	42.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 231百万円 (124.6%) 2019年3月期第3四半期 103百万円 (92.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	67.54	
2019年3月期第3四半期	66.60	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	35,455	12,610	35.6
2019年3月期	40,491	12,641	31.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 12,610百万円 2019年3月期 12,633百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		30.00	30.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	13.4	800	40.5	800	48.9	600	22.7	71.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2020年2月7日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	9,250,099 株	2019年3月期	9,250,099 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2020年3月期3Q	877,710 株	2019年3月期	874,133 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	8,375,439 株	2019年3月期3Q	8,376,696 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米国では堅調な個人消費が下支えし、景気は底堅く推移したものの、欧州は製造業の低迷が長期化し、中国は米国による関税上げにより輸出が低迷し、内需も弱い状況が続きました。

わが国におきましては、外需の減少に伴い輸出が低調に推移し、個人消費も不透明感が強まってきました。

そのような環境下、エレクトロニクス市場におきましては、情報通信機器関連の停滞基調が続き、車載関連も電子化が進展しているものの、自動車の生産台数が世界的に減少したことから、電子部品需要は弱含みで推移しました。

こうした状況のなかで、当社グループにおきましては、新規分野への拡販を図る一方、引続き生産効率の改善に努めました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、モジュール製品の受注減を主因に、売上高29,596百万円（前年同期比△10.8%）、営業利益729百万円（同△5.9%）、経常利益756百万円（同△29.2%）、親会社株主に帰属する四半期純利益565百万円（同+1.4%）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①電子部品

電子部品は、全般的な海外需要の不振に伴い、モジュール製品の受注が減速したことを主因に、売上高28,917百万円（前年同期比△10.7%）、営業利益1,473百万円（同+1.0%）となりました。

#### ②金型・機械設備

金型・機械設備は、金型の売上はほぼ前年同期水準となったものの、機械設備の売上が停滞したことから、売上高606百万円（同△13.9%）、営業利益19百万円（同△44.0%）となりました。

#### ③その他

その他は、商品仕入及び不動産業等にかかる事業であり、売上高は400百万円（同△2.1%）となり、営業利益は87百万円（同+7.6%）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末は、世界経済の減速に伴う受注減により生産水準が低下したことから、前連結会計年度末に比べ、売上債権が減少し、得られた資金を借入金返済に充当したことを主因に、総資産は5,035百万円減少し、負債は5,005百万円減少しました。

純資産は前連結会計年度末に比べ、株主資本は親会社株主に帰属する四半期純利益により565百万円増加し、剰余金の配当により251百万円減少したことなどから、310百万円の増加となりましたが、その他の包括利益累計額が、アジア通貨安円高による為替換算調整勘定の減少を主因に334百万円の減少となり、また、子会社株式の追加取得により非支配株主持分が7百万円減少したことから、30百万円の減少となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月10日に公表いたしました当年度の業績予想につきまして修正いたしました。

当該予想数値の修正に関する事項は、本日（2020年2月7日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,257	7,656
受取手形及び売掛金	13,259	7,327
商品及び製品	1,443	1,453
仕掛品	2,828	2,389
原材料及び貯蔵品	2,533	1,982
その他	1,695	1,032
貸倒引当金	△16	△16
流動資産合計	27,000	21,825
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,585	2,599
機械装置及び運搬具(純額)	3,545	3,609
土地	2,921	2,919
その他(純額)	292	288
有形固定資産合計	9,344	9,417
無形固定資産	388	493
投資その他の資産		
投資有価証券	1,141	1,142
繰延税金資産	1,423	1,431
その他	1,386	1,340
貸倒引当金	△194	△194
投資その他の資産合計	3,757	3,719
固定資産合計	13,490	13,629
資産合計	40,491	35,455

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,601	5,214
短期借入金	6,575	3,904
未払法人税等	227	106
賞与引当金	404	177
その他	1,448	1,566
流動負債合計	16,256	10,969
固定負債		
長期借入金	5,895	6,236
リース債務	483	522
繰延税金負債	3	2
再評価に係る繰延税金負債	327	327
退職給付に係る負債	4,754	4,660
その他	128	126
固定負債合計	11,593	11,876
負債合計	27,850	22,845
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,200	5,200
資本剰余金	5,038	5,039
利益剰余金	3,207	3,521
自己株式	△1,152	△1,156
株主資本合計	12,294	12,604
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7	△47
土地再評価差額金	685	685
為替換算調整勘定	△75	△405
退職給付に係る調整累計額	△262	△227
その他の包括利益累計額合計	339	5
非支配株主持分	7	—
純資産合計	12,641	12,610
負債純資産合計	40,491	35,455

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	33,194	29,596
売上原価	28,649	25,117
売上総利益	4,545	4,479
販売費及び一般管理費	3,770	3,750
営業利益	774	729
営業外収益		
受取利息	50	51
受取配当金	46	48
為替差益	257	—
その他	102	100
営業外収益合計	457	200
営業外費用		
支払利息	71	53
為替差損	—	20
その他	93	99
営業外費用合計	165	173
経常利益	1,067	756
特別利益		
固定資産売却益	0	1
保険解約返戻金	19	6
その他	1	1
特別利益合計	21	9
特別損失		
固定資産売却損	8	—
固定資産除却損	8	25
訴訟和解金	320	—
その他	5	3
特別損失合計	342	28
税金等調整前四半期純利益	746	736
法人税等	188	170
四半期純利益	557	566
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	557	566

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	557	566
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△215	△39
為替換算調整勘定	△281	△329
退職給付に係る調整額	42	35
その他の包括利益合計	△454	△334
四半期包括利益	103	231
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	103	231
非支配株主に係る四半期包括利益	—	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。また、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	電子部品	金型・ 機械設備	計				
売上高							
外部顧客への売上高	32,394	495	32,889	304	33,194	—	33,194
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	209	209	104	314	△314	—
計	32,394	704	33,099	409	33,508	△314	33,194
セグメント利益	1,458	34	1,493	80	1,574	△799	774

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品仕入(株大泉製作所製品)及び不動産・保険代理業に係る事業であります。
2. セグメント利益の調整額△799百万円には、セグメント間取引消去46百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△845百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	電子部品	金型・ 機械設備	計				
売上高							
外部顧客への売上高	28,917	374	29,292	304	29,596	—	29,596
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	232	232	96	328	△328	—
計	28,917	606	29,524	400	29,925	△328	29,596
セグメント利益	1,473	19	1,492	87	1,579	△850	729

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品仕入(株大泉製作所製品)及び不動産・保険代理業に係る事業であります。
2. セグメント利益の調整額△850百万円には、セグメント間取引消去61百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△912百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。